

Ⅲ. 世界自然遺産登録に向けて、今後必要な調査と取組

1. 普遍的価値の証明

鳴門海峡の渦潮に関する学術的資料及び類似資産に関する比較資料がほとんどないことが大きな課題である。

① 鳴門海峡の渦潮に関する学術的調査・情報収集

○現地調査

- ・渦潮の実測、解析調査

航空写真、動画などを用いた、渦の規模、発生パターンなどの調査

- ・渦潮の流速調査

船舶からの流速計などを用いた潮流速度測定

○渦潮発生メカニズムの検証

- ・渦潮の発生から消滅までの経過、地形や海面などの諸条件による渦潮の発生メカニズムの既往調査資料の整理、大型水理模型を使用した理論の検証

○既往資料の収集

- ・地域の自然環境全般を把握するための、鳴門海峡周辺で実施された環境調査資料等の収集
- ・渦潮の類まれな自然美・美的価値の証明のための資料（動画）収集

② 国内外の類似資産に関する学術的調査・情報収集

○現地調査

- ・鳴門海峡の渦潮の特異性、重要性の検証のため、国内外の類似資産について、鳴門と同条件での実測、解析調査の実施

○既往資料の収集

- ・国内外の潮流現象、渦の発生メカニズム、海域の地形・地質、成立過程など、渦潮に関する学術的資料の収集

③ 鳴門海峡の地形・地質、成り立ちに関する学術的調査・情報収集

○既往資料の収集、現地調査

- ・既往調査資料の整理による鳴門海峡の成立、地形・地質的特質の明確化必要に応じて、現地調査（年代測定のためのボーリング調査、鳴門海峡を構成する岩石の調査等）の実施

○地形変動傾向の調査

- ・鳴門海峡周辺の露頭調査（波浪による侵食痕（ノッチ）や波蝕棚（ベンチ）の位置）による海面変動、隆起沈降の把握

2. 世界的認知を高める

世界自然遺産登録に向けて、ジオパーク登録も視野に入れた情報収集、世界ジオパーク登録などの段階的なステップアップが必要と考える。

① 国際的認知度を高めるための「ジオパーク」登録

○ジオパーク資産の調査

- ・鳴門海峡をはじめ、淡路島全域を対象とした、ジオパーク登録に向けてのジオサイトの調査、資料収集

○ジオパークへの登録作業

- ・日本ジオパーク、世界ジオパーク登録のための事例・関係資料の収集、申請書類などの作成

3. 組織体制づくり

行政、学術、研究機関などと連携した協力体制の構築が必要である。

① 推進体制の充実

- ・調査の実施、資料取りまとめ、申請資料作成、登録手続きなど、世界自然遺産登録に向けた調査、諸手続きなどを推進するための体制の充実

② 調査研究の委託

- ・県内外の大学、調査機関に対する、鳴門海協の渦潮の普遍的価値の証明のための、渦潮、鳴門海峡の地形・地質などに関する学術調査研究の委託

参考・引用文献

- ・(財)日本水路協会(1999):海洋利用の手引き-日本周辺海域-
- ・海上保安庁海洋情報部(1999):瀬戸内海水路誌
- ・海上保安庁海洋情報部(2001):鳴門海峡潮流図
- ・三原郡史編纂委員会(1979):三原郡史,兵庫県三原郡町村会
- ・矢野悟道・竹中則夫ほか(1977):淡路島南部の植生,淡路島南部地域植生調査研究会
- ・兵庫県(1973):淡路島南部地域学術調査報告書『淡路島南部地域の植生とフロラ』
- ・兵庫県(1972):淡路島の植生調査と生態学的土地利用計画についての報告書
- ・兵庫県生物学会編(2011):ゆたかな兵庫の自然力,兵庫県生物学会
- ・石田弘明・武田義明・塩屋智也・服部保(2012):ニホンジカが淡路島諭鶴羽山のアカガシに与えた影響,人と自然 23, 69-79
- ・兵庫県農林水産部林務課(1985):兵庫県の鳥類,兵庫県農林水産部林務課,神戸市
- ・兵庫県農林水産部林務課(1995):兵庫県の鳥類(Ⅱ),兵庫県農林水産部林務課,神戸市
- ・兵庫県立人と自然の博物館(2006):兵庫県における鳥類の分布と変遷
- ・本州四国連絡橋公団(1980):鳴門海峡における渦潮等の追跡調査及び検討研究報告書
- ・徳島県立農林水産総合技術支援センター(2014):徳島県沿岸における栄養塩の動向及びワカメの色落ちのメカニズムと対策
- ・環境省(2001~2005):瀬戸内海環境情報基本調査
- ・環境庁(1994、1998):自然環境保全基礎調査
- ・日本大学(1988):日本大学農獣医学部学術研究報告(吉原・添田)
- ・シンクタンクせとうち総合研究機構(2013)世界遺産ガイド-自然遺産編-